



バトン

令和5年度豊浜中学校区小中一貫教育研究テーマ

主体的・対話的に深く学び，思いを表現する児童生徒の育成
～全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫の充実～

小中合同運動会

5月21日(日)
豊浜中学校にて

雨によるグラウンドコンディション不良のため1日延期し、5月21日(日)に豊浜中学校の大町くんによる号砲でスタートしました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止も緩和され、家族制限はもとより、来賓をお招きしての運動会実施となりました。多くの来賓の方々や保護者の皆様にご参加いただき、活気ある運動会が開催できたことに感謝いたします。



今年度のスローガンは、

「戮力協心 ～勝ち誇れ!僕らはヒーロー～」

『全員の力と心を一つにして頑張りたい』『運動会の力強さと頑張る自分たちはヒーローだ』という思いから、このスローガンを掲げました。子どもたちはこれまでの練習の成果を発揮して精一杯演技をしていました。

すべての競技を通して、最後まで全力で頑張っている姿は、「みんながヒーロー」になれたすばらしい運動会だったと思います。また、中学生、小学生が協力し競技だけでなく係の仕事や応援も一生懸命に取り組んだからこそ、大成功に終わることができました。

感動をありがとう。



小中合同防災学習

5月26日(金)
各地域にて

各地域の自治会長様、ありがとうございました

小中合同による防災学習を実施しました。始めは小中別々で「土砂災害対応携帯マニュアル」にそって事前学習を行いました。その後、それぞれの通学場所で小中学校が合流し、近くの避難所まで一緒に移動して行きました。避難所では、各地域の自治会長様が、過去の西日本豪雨の時の状況や避難所について説明してくださいました。子どもたちはしっかり聞き、関心を持ったことについて質問をする場面もありました。



今年度も全国には土砂災害にみまわれた場所もあります。早めの避難を心掛け、「自分の命は自分で守る」という気持ちで、いざというときは土砂災害対応携帯マニュアルを確認するなど、災害に備えておきましょう。



小中一貫合同授業研究会

6月7日(水)
豊小学校にて

6月7日(水)、3・4年生を対象に桐山先生による算数科の合同授業研究を行いました。

当日は、広島大学大学院人間社会科学研究科の松浦武人教授に授業を見ていただき、ご指導をいただきました。



事後協議会では、「個々の児童生徒に向き合った授業にするにはどうすればいいのか」「ICT機器を効果的に活用することができていたか」という観点で小中の教員で積極的な協議を行いました。

日々の授業を、より質の高いものにするために、教員1人1人が指導方法の工夫など研究を行っていくことが必要だと改めて感じる事ができた研究会となりました。



今後も、小中合同で研修を行い、ICT機器を効果的に活用しながら、小中一貫教育研究のテーマでもある「主体的・対話的に深く学び、思いを表現する児童生徒の育成」を推進していきます。そして、全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫を充実させていきます。

敬老の日 花プレゼント

9月18日(月)
各地域にて

敬老の日に向けて、豊浜中生徒と豊小児童が協力し、高齢者の方々に贈る花を製作しました。

ICT機器を活用し、中学校の生徒会執行部が各花の折り方をロイロノートにまとめたものを作成し、すべての児童生徒がそれを見ながら、日頃の感謝の気持ちを込めて、一生懸命折りました。



地域の方の温かい愛情に包まれて生活している子どもたちの感謝の気持ちと、いつまでもお元気でいてくださいという願いが込められています。この取組は中学校が長年継続して取り組んできたもので、数年前からは小学校とも協力し、小中一貫で取り組んでいます。



今年度は、長年の功績が認められ、日本善行会より表彰されました。

製作した花は、ご高齢の方々に渡していただけるよう豊浜市民センター長さんと豊市民センター長さんに依頼してきました。快く引き受けていただき感謝しています。ありがとうございました。

